

福島第一原子力発電所従事者の被ばく線量の全体概況について

平成25年9月17日
東京電力株式会社



1. 発災以降の放射線業務従事者の累積被ばく線量分布 (H23.3.11以降の累積線量)

区分(mSv)	H23.3~H25.7月		
	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6
200超え~250以下	1	2	3
150超え~200以下	24	2	26
100超え~150以下	118	20	138
75超え~100以下	241	90	331
50超え~75以下	309	669	978
20超え~50以下	610	3833	4443
10超え~20以下	525	3557	4082
5超え~10以下	423	3378	3801
1超え~5以下	634	6414	7048
1以下	964	7150	8114
計	3855	25115	28970
最大(mSv)	678.80	238.42	678.80
平均(mSv)	24.36	10.61	12.44

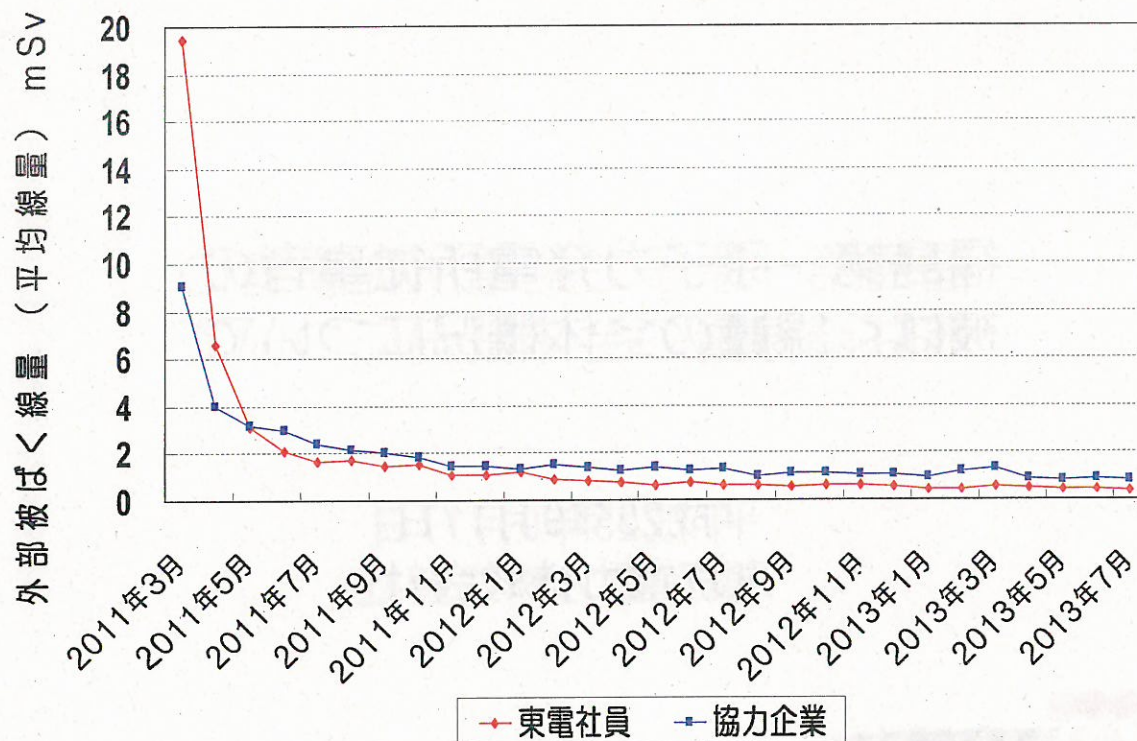
↓ 100mSv以下

↓ 50mSv以下

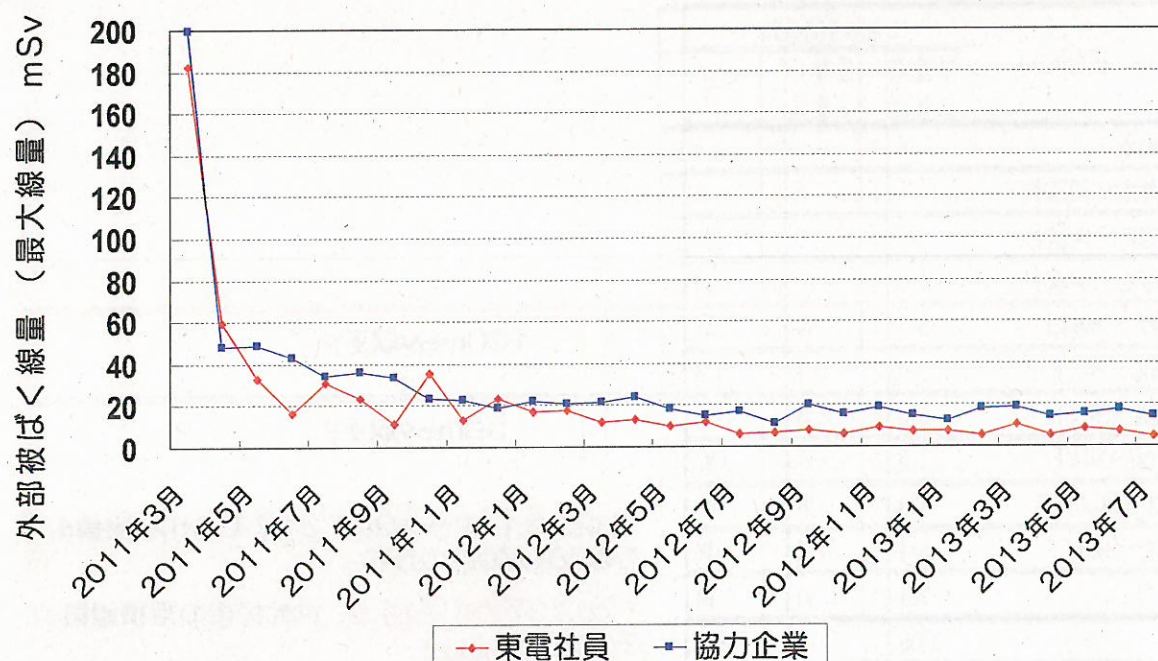
OH23.3.11からH25.7.31までの作業実績のある28,970名のうち

- ・ **28,797名 (99.4%)** は発災後の累積線量が**100mSv以下**
- ・ **27,488名 (94.9%)** は累積線量が**50mSv以下**

2. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況（月平均線量）



3. 発災以降の月別被ばく線量の低減状況（月最大線量）



○震災直後に比べ、月平均線量・月最大線量は大幅に低下している。

4. 現在の状況

(放射線業務従事者の累積被ばく線量 H24年度分)

区分(mSv)	H24.4~H25.3月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え~100以下	0	0	0
50超え~75以下 *	1	0	1
20超え~50以下	62	567	629
10超え~20以下	129	1,778	1,907
5超え~10以下	261	1,837	2,098
1超え~5以下	578	3,274	3,852
1以下	581	4,153	4,734
計	1,612	11,609	13,221
最大(mSv)	53.97	41.45	53.97
平均(mSv)	4.46	5.44	5.32

OH24年度(4月~3月)に作業実績のある
13,221名のうち

- ・ 13,220名(約100%) は50mSv以下
- ・ 12,591名(95.2%) は20mSv以下
- ・ 8,586名(64.9%) は5mSv以下



○大半の作業者の被ばく線量は線量限度に対し大きく余裕のある状態で引き続き従事可能なレベル。

* : 区分(mSv) 50超え~75以下の東電社員1名は、特定高線量作業従事者



4. 現在の状況

(放射線業務従事者の累積被ばく線量 H25年度分)

区分(mSv)	H25.4~H25.7月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え~100以下	0	0	0
50超え~75以下	0	0	0
20超え~50以下	0	27	27
10超え~20以下	14	305	319
5超え~10以下	46	748	794
1超え~5以下	415	2614	3029
1以下	800	3753	4553
計	1275	7447	8722
最大(mSv)	17.95	30.87	30.87
平均(mSv)	1.34	2.33	2.19

OH25年度(4月~7月)に作業実績のある
8,722名のうち

- ・ 8,722名(100%) は50mSv以下
- ・ 8,695名(99.7%) は20mSv以下
- ・ 7,582名(86.9%) は5mSv以下



○大半の作業者の被ばく線量は線量限度に対し大きく余裕のある状態で引き続き従事可能なレベル。



5. まとめ

○全体的な状況から発電所の線量状況は改善してきている。

- ・発災以降の作業者の被ばく状況を見ると、殆どの作業者は、100mSvに対し大きな余裕がある状況。
- ・H24年度、H25年度は年50mSvに対しても大きな余裕がある状況。
- ・H24年度、H25年度の月平均線量は約1mSvで安定している。



大半の作業者の被ばく線量は線量限度に対し大きく余裕のある状況であり、その後も放射線作業に従事が可能なレベルである。

引き続き作業環境の線量低減に取り組むと共に、作業者の被ばく状況について今後も継続して注視していきたい。